

健康寿命延伸の具体的な推進策を提案！

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

第29号

2015年8月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■タイ議連事務局長に

自治会の拠点設置に支援を 知事「市町村に先進事例を周知」

高齢社会が到来し、社会保障費が増大していく中、地方自治の現場で介護予防策を推進することは極めて重要です。福岡県議会6月定例会（6月17日～7月14日）で、私は1期目からの通算で連続17回目となる本会議質問（一般質問）に立ち、小川洋知事に対して「健康寿命延伸の具体的な推進策」を提案。知事はこれを前向きに受け止め、先進事例を県内市町村に周知する姿勢を示しました。

今回の提案に当たり、地元・古賀市で健康寿命延伸を目指して取り組みが進められている「ヘルステーション」を参考にしました。これは、住民の皆さんが主体となつて市行政等と協働し、自治会単位で設置・運営される「健康づくりの拠点」。舞の里1区などの現場を視察し、学ばせていただきました。



知事に健康寿命延伸の具体策を提案した一般質問＝2015年6月29日

私は本会議質問で、こうした拠点は、特定健診受診のきっかけづくりや地域包括ケアシステムの介護予防体制を構築するうえで意義があることを

説明。保健師や健康づくり推進員等の担い手の確保と育成、看護大学等の教育機関との連携、骨密度計等の測定機器への助成の必要性を挙げました。そのうえで、県内60市町村の各自治会で確実に拠点づくりが進むよう、県の支援を求めました。

知事は認識を共有し、「こうした拠点で地域の住民同士が声を掛け合うことで、それぞれの健康への意識も高まっていく。県としてもその拠点に（職員が）出向き、健康教育を行うことで特定健診受診率やがん検診受診率の向上につながるよう努める」と答弁。さらに、健康づくり推進員の養成と活用や、看護大と市町村の連携等に関する先進事例を収集し、県内市町村などに周知を図る姿勢を示しました。

こうした答弁を受け、

私からは①県の保健福祉事務所が先進事例からモデルを確立し、市町村に出向いてサポートを実施すること②測定機器を県としても確保し、市町村や自治会に貸し出す体制を整備すること③知事として県内の全市町村で保健師が増員するよう促す姿勢を持つこと――などを強く要請しました。

なお、健康寿命延伸に関しては、福岡県における介護費削減の試算が今年2月の私の一般質問で明らかになっており、10年間で814億円削減できるとみられています。

県議会のHPでは本会議の質問について、今回のもも含め過去の動画を見ることができ、こちらでもご参照いただけます。

▼福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき で 検索

ブログ（政治活動日記）

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>

公式ホームページ

<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

facebook

<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>

Twitter

アカウント→ @tanabe_kazuki

裏面につづきます

県市連携 — 市長や市議の方々に県の予算を説明！



古賀市議の皆さんと勉強会&意見交換会を開催＝2015年7月

地方分権改革調査の副委員長にも就任

福岡県議会の6月定例会では、知事から提案された過去最大となる1兆7770億円の一般会計当初予算案など50議案を可決しました。私や所属会派からこれまで県議会の議論の中で提案し、実現されている政策も多く含まれています。また、県の予算には古賀市のまちづくりに関わる事業、今後の市政を考えていくうえで活用できる可能性のある事業などが多々含まれています。そこで、私は県議就任以来、市長や市議の皆さんに予算を直接説明したうえで、意見を交換させていただきました。この際、私が古賀市にたった一人の県議であるからこそ、それぞれ

が所属する政党・会派に関わりなく、お声掛けさせていただくことを常に意識しています。今回も7月に実施させていただきます。私からは、教育・子育てや医療・介護、経済・農業、環境・エネルギーなどそれぞれの分野における県の政策展開や、古賀市に関わる県の道路・河川事業（筑紫野古賀線の4車線化、都市計画道路・中川熊鶴線の久保区内整備、筵内区・鷺白橋架け替えなど）について詳細に説明。また、意見交換では、県に対するご意見やご要望を多くいただきました。今後の活動にしっかりとつなげていきます。地域振興のためには、県

と市が連携していくことがとても大切です。こうした意思疎通を図る機会を今後大切にしていきます。

また、6月定例会では調査特別委員会の設置も決まりました。常任委員会は農林水産委員会に所属していますが、これに加え、調査特別委員会は「広域行政推進対策調査特別委員会」に所属し、副委員長を務めさせていただきます。ことになりま

した。ここでは、特に政治的な重要性が増している地方分権に関わる税財源問題や広域的な成長戦略などに関する調査を行っていきます。今林久委員長（自民、福岡市東区）をしっかりと補佐し、県政推進のために委員会を運営していきます。

◇タイ議連の事務局長に就任！



バンコクに渡航する高校生たちと県議会議棟で

私は2期目の今期から、福岡県議会のタイ友好議員連盟の事務局長にも就任しました。福岡県議会はバンコク都議会与友好提携を結んでおり、経済、環境、文化、青少年健全育成など多岐にわたる分野で交流を推進しています。2014年にはバンコクの防火体制を強化するため、古賀市谷山区のものを含む県内の消防車両を贈呈するなど成果を上げています。

この8月には、県の青少年海外派遣プログラムでバンコクに渡航する高校生たちの議長表敬に同席し、生徒たちの「タイと福岡の架け橋になりたい」との言葉にとっても勇気づけられました。私も議連の事務局長として、こうした取り組みを一層充実させられるよう、しっかりと務めを果たしてまいります。

<田辺かずき プロフィール>

1980年5月16日生まれ
1987年 暁の星幼稚園 卒園
1993年 花鶴小学校 卒業
1996年 古賀中学校 卒業
1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
2006年 大阪本社社会部 配属
2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）



2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
2015年 福岡県議会議員 2期目当選
【所属】 福岡県議会・広域行政推進対策調査特別委員会 副委員長
同・農林水産委員会、議会運営委員会
同・タイ友好議員連盟事務局長
全国青年都道府県議会議員の会（福岡県世話人）
民主党青年委員会副委員長
民主党福岡県第4総支部幹事長
【家族】 会社員の妻、8歳の長男、5歳の長女

夏のイベントを 駆ける！

この夏も、古賀市内各地の夏祭りをはじめ様々なイベントを回り、多くの皆さんと交流させていただきました。たくさんのご意見・ご要望について、しっかりと私の政治活動につなげてまいります。引き続きいろいろな場所に顔を出しますので、ぜひお声掛けください！



田辺かずき事務所からの おしらせ

【対話集会を開催】

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があつてこそ。市内各地の公民館で対話集会を継続的に開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただきます。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所(092-692-8510)までご連絡ください。